

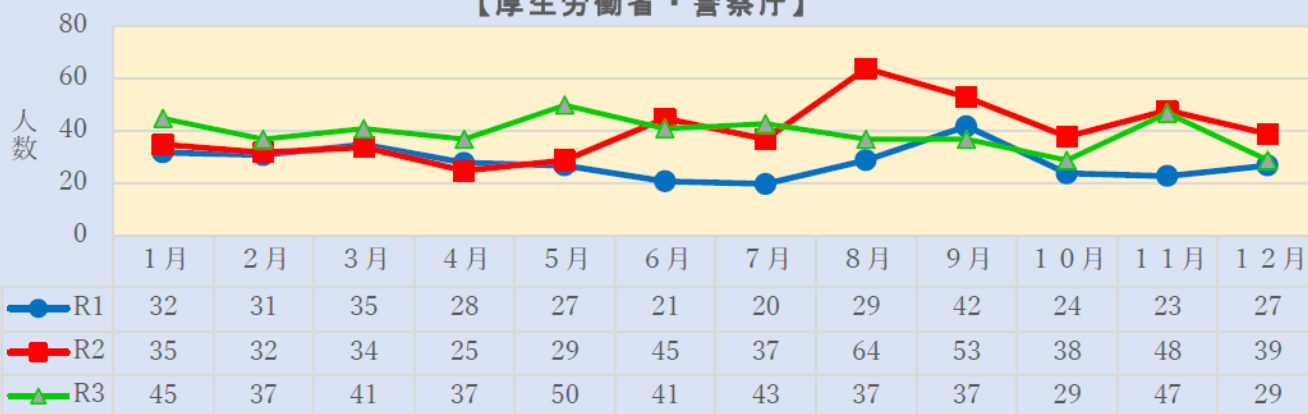


SOSの出し方教育と教育相談体制の充実

令和4年度 生徒指導の重点目標

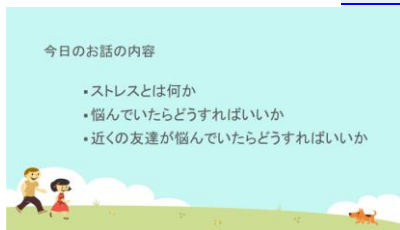
「令和3年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」によると、「いじめを受けている児童生徒のうち誰にも相談していない者の状況」は、千葉県公立学校において1269件であり、前年度の670件よりも大幅に増加しています。いじめられている子供たちの中に、周囲に救いを求めることができない子がいるということは憂慮すべきことであり、引き続き、取組を推進していく必要があります。また、厚生労働省・警察庁の調査によると、令和3年の児童生徒の月別自殺者数は、依然高い状況にあります。学校生活の変化が児童生徒にとって大きなストレスになっていることを踏まえた「SOSの出し方教育と教育相談体制の充実」が急務といえます。

児童生徒（小・中・高）の月別自殺者数の推移（暫定値）
【厚生労働省・警察庁】



学校にお願いしたい具体的なこと

- ① SOSの出し方教育について、年間計画の中に盛り込み、年度始めなど適切な時期に、県が作成した資料（SOSの出し方教育PPT資料（R4改訂版）、SOSの出し方教育映像資料）等を活用して実施する。資料のダウンロードはこちらから → <https://cms2.chiba-c.ed.jp/kosapo/>



- ② 4月に教育相談強化期間を設定し、年度始めに、面談等で児童生徒の個々の悩み等を把握することと併せて、ゴールデンウィークや長期休業明けなどにも、教育相談週間を設定するなど、継続的に児童生徒理解に努める。

※ 18歳以下の自殺は、8月下旬から9月中旬等の学校の長期休業明けの時期に増加する傾向があることを踏まえ、長期休業の開始前からアンケート調査、教育相談等を実施し、悩みや困難を抱える児童生徒の早期発見に努める。（文科省：児童生徒の自殺予防に係る取組について）

- ③ 家庭との円滑な情報共有のもと、発達段階や生活環境等の状況を踏まえた児童生徒理解に努め心身や環境等に係る課題を把握した際には、SCやSSW、関係機関と積極的に連携を図る。

SOSを受けとめるために 南房総教育事務所 京谷スクール カウンセラースーパーバイザーより

現在、千葉県教育委員会では子どもたちにSOSの出し方教育を進めています。しかしながら実際にSOSが出されたとして、私たちの側に受け止める準備ができていますでしょうか？例えば「死にたい」と打ち明けられた際に、どんな対応をしたものかイメージできるでしょうか？

SOSを出された際に、まずしなければならないのが傾聴です。まずは相槌や相手の語尾をくり返すことで真剣に理解しようとしている姿勢を示します。たかが相槌ですが、イントネーションや声量、間の取り方、相槌を打つ際の視線、表情、身振り手振りなどで相手の話しやすさは大きく変わってきます。良い聞き手であれば、これだけでも相手の気持ちが落ち着くこともあるほどです。

次の段階として相手の話の内容を整理して「つまり、こういうことだと理解して良いですか？」と投げかけていくことです。そこで誤解があれば修正し、理解しきれていないところを尋ねていきます。時には理解の過程で聞き手の驚きや感情を表現したり、相手なりの努力を褒めたりといったことをしていきます。もちろん説明のために言葉を尽くしてくれたことに感謝を示すことを忘れてはいけません。事態の解決に向けては、具体的な対処や新しい考え方の獲得が必要になることもありますが、タイミングを外したアドバイスは傷を広げかねないということを知っておいてください。

「こうしたほうが良いよ」と言ったつもりが「こうしない、あなたが悪い」となってしまうこともあります。アドバイスは、相手に受け取る準備ができていないかを見極める必要があります、その準備を促すのが傾聴です。傾聴は、SOSを受けとめる上での第一歩であると同時に、最後に到達すべき究極のものであるとも言えます。



つながって いますか？ **不登校児童生徒の支援**

不登校はどの学校、どの学級でも起こりうる生徒指導上の課題ですが、問題行動ではありません。「学校に登校する」という結果のみを目標とするのではなく不登校の児童生徒が社会的に自立することを目指すことが大切です。場合によっては教育センターやフリースクール等といった民間施設と連携し、支援に当たっていくことも必要になります。

千葉県では「不登校児童生徒・保護者のためのサポートガイド」を作成し教育センターやフリースクール等を含めた支援の窓口を紹介しています。すでに市町教育委員会を通じて各学校へは配付されていますが、下記のアドレス、二次元コードからダウンロードすることもできますので、学校職員や保護者への周知等、御活用ください。

| | | | | |
|------|------------------|--------------------------|---------------|---|
| 館山市 | 成美学園 館山校 | 館山市北条1872-8 水口ビル2F、3F | 0470-23-9001 | https://seibi.net/sghgroup |
| 鴨川市 | 鴨川そらいろ | 鴨川市八色776 | 04-7093-1050 | https://soracolor.jimdofree.com |
| 木更津市 | YUME School 木更津校 | 木更津市大和1-9-4 大和1丁目畑野ビル | 050-5491-6821 | https://school.yume.support |
| | 成美学園 かずさ校 | 木更津市東中央2-1-1 | 0438-20-8050 | https://seibi.net/sghgroup |



【対応実績のあるフリースクール等の連絡先も紹介されています】



教育事務所にはスクールソーシャルワーカーも配置されています。
不登校支援の人材に関して不明な点がございましたら気兼ねなく御相談ください。

👉【二次元コード】 【ホームページアドレス】📞

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/seitoshidou/ijimemondai/futoukoutaisaku.html>